

こにちは!

民生委員児童委員です



地域住民への自助・互助の周知と居場所づくりを目指して

東名川崎インター出口に位置する土橋、けやき平、神木を担当する宮前第4地区は、終戦直後わずか57戸の農家が点在した地に、昭和40年代の田園都市線の開通により急激に発展し、世帯数9,500、人口22,000の純住宅地に発展しました。昭和50年代の人口急増に対応して新設された小中学校には、これらの子どもたちの放課後・休日活動をサポートするため、子ども会を核に各種ボランティア団体も加わった支援活動が活発になり、その中心に多くの新住民が参加しました。地元住民と新住民の垣根のない交流の源流がここにあり、現在の民生委員児童委員活動にもつながっています。

平成16年に町内会・自治会、地元保育園の協力を得て始めた毎月1回、2カ所で開催する子育てサロン「すすく土橋」「すすくけやき平」は、今年3月、新たに「すこやか神木」をオープンしました。前半は保育士さんの手遊びや育児に関するお話、地元スイミングスクールのインストラクターによるママを元気にするコンディ



ショニング等親子で遊び、後半は「ママカフェ」に変身し、幼児のお相手は、保育経験者、退任委員、地域のボランティア等、会場は世代間交流の場となり会話が弾みます。

平成23年11月、地域包括支援センター、町内会、地区民児協、老人クラブ、地区社協等、地域のさまざまな関係機関や専門家で構成された「土橋地域包括ケア連絡会議」が発足し、地域での新しい福祉活動への取り組みが

老門 聡子 (民生委員児童委員)
川崎市宮前区
宮前第4地区民生委員児童委員協議会



始まりました。「認知症を地域で支え合おう」という目的のもとに平成25年9月に「土橋カフェ」がスタートし、認知症の方やその家族、地域の誰もが気軽に立ち寄る場となりました。会費100円でドリップした珈琲や抹茶・紅茶等お代わり自由、「カフェ」という名の通り、お茶を飲みながらゆっくり過ごすことができます。常に医師や認知症ケアアドバイザー、ケアマネジャー、弁護士などが普段着で参加しており、気軽に専門職に相談し、早期の診断・治療や介護保険制度の利用につながっています。毎月第1水曜日の午後は、平均100名前後の参加者で会場は溢れます。



民生委員の関わりは、気になる方のカフェへの誘い出し、お出迎え、お話し相手、見守り等で2時間半はあっという間、民生委員として充実した時間が流れます。

川崎市の子どもから高齢者まですべての住民を対象とした「地域包括ケアシステム」、自ら健康を保つ「自助」の努力と、地域住民がお互いを支え合う「互助」につながる活動、居場所づくりにと楽しく活動しています。

認知症カフェの土橋カフェはテレビでも紹介されるなど注目されており、新しく認知症カフェを立ち上げる際の参考となることも多くあります。

地域に住まう人と人をつなげ、誰もが住みやすい地域を作る活動。素敵です…。

(川崎市民生委員児童委員協議会)

民生委員制度は、平成29年で100周年を迎えます。左上のマークは、100周年シンボルマークです。

一般家庭から大型テレビまで最新のエレクトロ技術により皆様の安心と安全を提供致します。防犯カメラや新型【AED】も取扱っております。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 **岡本 誠一郎**

本社 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-8-8 第一川島ビル
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1528

一般社団法人

神奈川県福祉研究会

福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷

株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12

営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902

制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588

http://www.kki.co.jp/